

1 問題設定及び解法

無重力場でのスピン衛星の姿勢運動をコンピュータでシミュレートする。シミュレーションのソースコードは付録にまとめた。

1.1 条件

条件は以下のように設定する

1. 姿勢表現は Quaternion を用いることとし、初期条件は $\mathbf{q} = (1, 0, 0, 0)^T$ とする。
2. x,y,z 軸は principle axis に一致しているとする。 I_x, I_y, I_z をそれぞれ $1.9, 1.6, 2.0[kgm^2]$ とする。
3. y 軸周りにノミナルの角速度 ω_s ($=17rpm$) のスピン角速度があるとする。
4. 外乱トルク, 制御トルクをそれぞれ $\mathbf{M}_D, \mathbf{M}_C$ とする。今回のシミュレーションではそれらを 0 とおく。
5. Gravity Gradient その他の外乱トルクは考えず, 重力の影響やエネルギー散逸もないとする。
6. $\boldsymbol{\omega}^b$ の初期値は $(0.1, \omega_s + 0.1, 0.0)^T$ とする。

1.2 解くべき方程式

オイラーの運動方程式は,x,y,z を慣性主軸に取れば,

$$\mathbf{M}_D + \mathbf{M}_C = \begin{bmatrix} I_x \dot{\omega}_x - (I_y - I_z) \omega_y \omega_z \\ I_y \dot{\omega}_y - (I_z - I_x) \omega_z \omega_x \\ I_z \dot{\omega}_z - (I_x - I_y) \omega_x \omega_y \end{bmatrix} \quad (1)$$

今回は, $\mathbf{M}_D = \mathbf{M}_C = 0$ であるから, $\boldsymbol{\omega}^b$ について解くべき方程式は,

$$\dot{\boldsymbol{\omega}}^b = \frac{d}{dt} \begin{bmatrix} \omega_x \\ \omega_y \\ \omega_z \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \frac{I_y - I_z}{I_x} \omega_y \omega_z \\ \frac{I_z - I_x}{I_y} \omega_z \omega_x \\ \frac{I_x - I_y}{I_z} \omega_x \omega_y \end{bmatrix} \quad (2)$$

となる． よって, Quartanion \mathbf{q} について解くべき方程式は,

$$\dot{\mathbf{q}} = \frac{d}{dt} \begin{bmatrix} q_0 \\ q_1 \\ q_2 \\ q_3 \end{bmatrix} = \frac{1}{2} \begin{bmatrix} -q_1 & -q_2 & -q_3 \\ q_0 & -q_3 & q_2 \\ q_3 & q_0 & -q_1 \\ -q_2 & q_1 & q_0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \omega_x \\ \omega_y \\ \omega_z \end{bmatrix} \quad (3)$$

1.2.1 数値解法

式 2 と式 3 を 4 次のルンゲクッタ法で数値積分することにより, ω^b, \mathbf{q} の時間変化を求める．